

まつかぜ

第22号 平成19年6月



松風台自治会

転出入会員（敬称略）

訃報（敬称略）★ご冥福をお祈り申し上げます

《お知らせ》

◎ 自治会資源回収方法が変わりました！

6月から衣類・布類の回収はされません。アルミ缶・新聞紙・ビール瓶・雑誌はできるだけ資源回収日にお出しいただけます様ご協力のほどお願い申し上げます。（市からの補助金が出ます）

◎ 今年度の「夏祭り」は8月18日（土）・雨天時は19日（日）です。
多数のご参加をお願いいたします。

まつかぜ 第22号 平成19年6月発行
発行者 松風台自治会
編集者 文化広報部

所感

会長 吉田正一

今春、何となく平成19年度会長を拝命しました。予期せざる事とはいえ、殆ど何の目標もなく就任したことは汗顔の至りです。我が松風台自治会も昭和50年にゴミ問題を契機として発足以来、本年で創立32年を迎え、歴代の会長を始め、諸先輩方の打建てた業績は誇るべきものと言えます。

自治会の方針も発足以来、自主、友好、協力を基本として参りました。一方、近年、住民の少子高齢化が進み、茅ヶ崎市の統計でも松風台の高齢化率（65歳以上の住民の割合）は平成18年10月で35%を超え、それに合わせた福祉や環境が重要になってきており、自治会の役目もそれだけ重くなっていると言えます。

近年の松風台の標語は「住んで良かった松風台」で、災害に強く、美しい町作りを目指していることは本年度事業計画案に示されている通りです。

また、就任して見ますと会長職は松風台のみならず、近隣所地区との関り合いの多さに驚かされました。一自治会の中だけではなく地域間で行うことも多く、茅ヶ崎市のレベルで考えて行かなければならないこともあることに思い至りました。

就任して見て感じたことが二つあります。

一つは、老化は人間ばかりではないと言うことです。自治会館は築後15年に達し、殊に近年、高齢者対応問題が宣伝されている折から会館リフォームを望む声があり、これは前年度からの懸案にもなっています。茅ヶ崎市でも市庁舎を建替えるカリフォルニアするかが問題に上っています。さらに、会則も最近の更新から5年が経過しようとしており、近頃の憲法問題同様、現状の要求に合わない点の見直しが必要だとする声があります。これらを考えて会館リフォームと会則改訂を本年の目標の一つに位置付けています。

他の一つは人材の活用と言うことです。松風台には現役時代に広い領域で社会に貢献してこられた方が多いように思います。例えば悪いのですが、戦前の軍隊では何かを作ろうとすると、必ずその分野の専門家がいて、何でもできるので便利であるという話を聞いたことがあります。この松風台でも同様に種々の分野の専門家がおられるので、その人達を生かすことを考えてはどうかと思います。引退後、趣味に生きがいを見出されるのも結構ですが、お持ちの豊富な知識と経験を地域活動にお使いになっては如何でしょうか。そのためには自治会もその受け皿を考えて行きたいと思っております。

さらに、今年、会の一層の周知、目的達成の便宜のために、岡野事務局長の肝煎りでホームページ開設の運びとなりました。現在、自治会でホームページを立ち上げているのは松浪地区の美住町があり、他にベルパーク湘南茅ヶ崎等が用意

している様です。ホームページは広報性とプライバシー保護の兼ね合いの問題もあり、一部の方々には多少の違和感もあるかと思いますが、これを通じて松風台の地域により親しんで頂き、街作りの助けになればと考えております。

自治会の今一つのモットーは「皆でやる、助け合ってやる」ということで、上記の様な諸問題には会員各位が奮って発言、参加されることを願っています。

ご挨拶

西村勝彦

皆様こんにちは この度松風台自治会の副会長に就任することになりました西村です。毎年4月に開催される定期総会の議案書を見るたび、さぞかし役員は大変であろうと思っていました。他の自治会の役員経験は数回あるものの、500世帯以上の自治会副会長のような大役が自分に務まるものか、少々戸惑いと不安が募っていますが、今までに諸先輩の地道な一步一步の努力の積み重ねで築き上げてこられた30年の実績をもとに、皆様の御指導と御支援を賜りながら、役員の方々の足手纏いにならぬ様に頑張っていこうと思います。

すでに新年度もスタートして2ヶ月が過ぎようとしています。松風台自治会の他に湘北地区等の会合へと出席する機会が多くなっていますが、各会合で顔なじみの方が増えており気さくに声を掛けてくださる方も多くなりました。情報交換や親睦が計れる様になれることを願っており内心楽しみにしています。

今年も松風台自治会が住みよい街づくりを進めていくためには、まず自分に出来る事から始めてみようと思います。又、皆で意見を出し合い有限実行で一緒に頑張らしましょう。皆様のご協力を御願い致します。

事務局長2年目として

岡野正之

縁ありまして今年度も事務局長を務めることになりました。昨年度の経験を生かし、今年度は多少ゆとりを持って臨みたいと思っております。各自治会の長の方がそれぞれおっしゃっておりますが、地域の核は自治会でありますので、会員の皆様の声が反映できますよう努力します。平成18年度の路線を踏襲しつつ、今年度は新たな気持ちで何らかの形で足跡を残したいと考えております。それには結論を得るまで徹底的に議論をし、役員、班長のコンセンサスを得て進めて行きたいと思っております。平成19年度の言わば、最重点課題でありますリフォーム問題と自治会関連の規約等の見直しに取り組む所存です。それと3年目に入ります弱者救済会議も重要でありますので、防災会の皆様と連携して例えば転倒防止等の課題にも取り組まねばと決意を新たにしているところであります。